

すべての子どもたちが 将来に希望を持てるように

地域の方々との交流や食事づくりなどを通して、子どもたちを支援する取り組みとして、子どもが楽しく過ごせる居場所「子ども食堂」が増えています。今回は地域の皆さんの活動と、子どもの将来を応援するための取り組みを紹介します。



1.子ども食堂の時間割(江川さんとスタッフのぐみちゃん) 2.学習ボランティアの皆さん 3.宿題をする子どもたち 4.みんなで料理をするから会話ははずむ 5.今日の晩ごはんができました!

自分を知って
人が増え
会話が豊かになる

会津若松市内3カ所で週3回、夕方4時半から7時まで子ども食堂を開いています。

「夕食を取れる機会、家族と一緒に取る機会が少ない人はおいで」と言って、子どもを募っています。通っている子どもたちは小学生が中心。放課後学校からまっすぐ来て、宿題を始めて、それが終わったらボランティアの皆さんと食事を作る。一緒に作るというのが大事で、学校や家庭の出来事などを料理を作りながら、

Interview
01
NPO法人
寺子屋方丈舎
理事長
えがわ かずや
江川 和弥さん

必要なきに
利用できる
場所になりたい

外見からは見えない子どもの課題というものを、学校だけじゃなくて、いろんな機会が見えていくという意味で、子ども食堂はいいです。この活動をする事で、ボランティアを通じて地域も元気になっていけると感じます。子ども食堂が、地域の子育ての課題を解決するひとつの場所になっていけばいいなと思っています。



てらこやほうじょうしゃ
寺子屋方丈舎 理事長
江川さん
☎0242(93)7950



子ども食堂のノウハウや課題を共有し、情報発信するため、昨年8月に子ども食堂の運営団体で構成するネットワークが発足しました。継続的な運営方法の共有や、新たに子ども食堂を開設する方への支援をしています。現在加盟しているのは11団体。寺子屋方丈舎の江川理事長が代表を務めています。

「ふくしま子ども
食堂ネットワーク」
とは



「まかないこども食堂たべまな」の様子 ※「たべまな」は「たべよう・まなぼう」の意

Interview
02
非営利任意団体
KAKECOMI
代表・ソーシャルワーカー
ここのす まりか
鴻巣 麻里香さん

みんながこの場に
貢献する仲間として
つながる

白河市内で週1回、月曜日の午後3時から8時まで、子ども食堂をやっています。子どもたちが、自分にできること、したいことを考え、何か役割を担うことがうちのルール。必ず何か仕事をしてもらっています。料理もしたい子がいますし、勉強も年上の子が年下の子をサポートする私たち。みんながここに貢献して、みんなが互いにありがとうって言い合える関係をつくっています。子どもたちにとっては、何かをしたことを周りから認められて、受け入れられて、それで私がここに居ていいんだっていう自信になるんです。



KAKECOMI 代表・ソーシャルワーカー 鴻巣さん
☎0248(21)7912

自分なを認めてくれる
居心地のいい
居場所が大切

私は、子ども食堂は何よりも居場所としての価値があると思っています。週1回の食事でするときおなかいっぱいになったとしても、すぐにおなかは空いてきます。ただ、居心地の良い自分の居場所があって、子どもがここにいる自分を好きになれる、そういう誇りを持つことが大切で、それが困難な状況を変える第一歩になると考えています。

子どもの
生活実態および
子育てに関する
実態調査

県では平成28年度、福島大学の協力のもと、18歳未満の子どもを持つ家庭に対してアンケート調査を実施し、その結果をとりまとめました。

その結果、支援を必要とする世帯において、現在行われているさまざまな支援制度が十分に知られていないことがわかってきました。そのため、関係機関の連携で支援に携わる方々のつながりを広げると共に、情報発信により、支援を必要とする世帯に効果的に届ける取り組みを進めています。



福島県 子どもの生活実態 検索

知ってほしい、活用してほしい、さまざまな支援制度

「将来の夢応援ガイドブック」

子どもの将来が生まれ育った環境によって左右されることがないよう、各行政機関では子どもを応援するためのさまざまな支援制度を設けています。その制度や窓口をまとめた冊子「将来の夢応援ガイドブック」を中学2年生に配付しています。子どもの進学や就職に加え、保護者の就職などに関する支援も掲載していますのでぜひ活用ください。

また、新小学1年生の保護者の皆さんには、支援制度の概要を掲載した「子どもの将来の夢応援リーフレット」を配布しています。



いじめや不登校などのいろんな悩みを聞いてくれるスクールカウンセラーや、家庭や学校の困りごとと一緒に解決してくれるスクールソーシャルワーカーもいます。学校の先生が窓口だから相談してみてね!



問 県庁子ども・青少年政策課
☎024(521)7187

将来の夢応援ガイドブック 検索

関係機関のつながりを広げています

関係機関の連携会議を開催

県や市町村、民間団体などは、支援を必要としている子どもたちに対して、さまざまな取り組みを行っています。県では、これらの関係機関が連携を深めることで必要な支援が子どもたちに届くようにするため、県内7方で協議会を開催し、教育や生活、経済的支援等について情報共有や意見交換をしています。



知事メッセージ Message

子どもたちが将来の夢を実現できる社会を目指して
福島県知事 内堀雅雄



子どもたちが、その生まれ育った環境に左右されず、夢と希望を持って成長できる社会を創っていくことは、県政の最重要課題の一つです。

このため、ひとり親世帯の子どもの居場所づくりや生活困窮世帯の学習支援などに取り組みとともに、市町村や学校、民間団体などと連携して、支援を行う体制づくりを進めてきました。

今後とも、関係の方々と力を合わせて、必要な支援をきめ細かに届けられるよう取り組みを進め、子どもたちが将来の夢を実現できるよう、応援してまいります。